

A F P Y だより

Adventure Friendship Program in Yamaguchi

第 5 号

H27.3.4

山口県教育庁 義務教育課

社会教育・文化財課

体験を通して学ぶ

A F P Yでは、他者とかかわり合う様々な体験活動を行います。指導者として大切なことは、体験そのものを目的とするのではなく、体験の中で、「自分の役割」「他者への信頼」「問題解決能力」など、個人や集団の成長につながる場面を意図的に設定することです。

このような、体験を通じた学びを得るためには、場を捉えた「ふりかえり」の時間の設定が有効になってきます。

『ふりかえり』 とは

体験活動の場において、参加者はいろいろな感情を抱き、認識して、行動につなげています。指導者は「何が起きた?」「その結果、どうなった?」「これからどうする?」というような観点をもって話し合いをリードしながら参加者の内面を引き出し、今後のかかわりにつなげられるように支援していきます。この一連の過程が「ふりかえり」です。

『ふりかえり』 をする中で

ふりかえりは、指導者が一方的に話す場ではなく、あくまでも参加者の言葉が主体となります。しかし、参加者が自ら進んで話そうとしないことも少なくありません。「指導者のお説教の時間にしない」「全員が参加する」「相互尊重の関係が保障されている」「話し合いで解決できる事柄を話題にする」などに留意する必要があります。

「サンクス(お互いの感謝を述べ合う)」「ハイ&ロー(気持ちの高まりや落ち込みのポイントを伝え合う)」など、ふりかえりの中で参加者の言葉を引き出しやすくするための技法もあります。今後のA F P Yだよりや研修会等の場でご紹介していきます。

さあ、一緒に

「自分が思ったことを言葉にして伝えることは難しかった。でも友達
がちゃんと聞いてくれたので安心した」「みんなで一つのことにチャレ
ンジするのは心地よかった。何事も、まずは“和”が大切だと感じた」
これは、ふりかえりの時間に子どもたちから出された言葉です。

ふりかえりの時間には、子どもたち自身の今後の生活だけではなく、私たちの日々の教育実践にもつながる、示唆に富んだ言葉が聞かれることも多くあります。

いよいよ学年末です。裏面では、この一年をふりかえるのにも有効な実践事例をご紹介します。

さあ、ぜひ一緒に、ふりかえりの時間を楽しんでいきませんか。



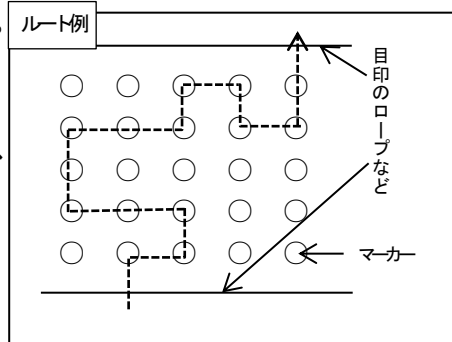
～社会教育・文化財課のHPで、研修会の活動の様子や案内等をお知らせしています。～

A F P Y |

検索

エラーがあるからこそ道が開ける！みんなでエラーを大切にしながら支え合った一年間を振り返ろう！

《ねらい》 互いのエラーを大切にしながら、目標に向かって進む			
『シークレットコード』			
教科・領域等	特別活動（学級活動）	時間	30分程度
準備物	マーカー（1人が乗れるくらいの大きさ、かつ滑りにくいもの）		
活動の実際 ※留意点	<p>①マーカー（5列×5列、計25枚）を床に置く。 ※実態に応じて4列×4列など工夫する。</p> <p>②ファシリテーターは、正解となる「隠されたルート」をあらかじめ決めておく。 ルート外のマーカーに足を乗せたときは、「違う」ことを伝える。</p> <p>③マーカー上の「隠されたルート」をグループごとに探りながら全員でゴールをめざす。 ※進む方向は、前後左右のみ。 ※マーカーから落ちたり、ルートを間違えたりしたら次のグループと交代する。 ※グループの先頭はチャレンジごとに交代する。</p>		
ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしてゴールにたどり着くことができたと思いますか？ ・ 活動の中で、どんな+（プラス）の言葉が出てきましたか？その言葉を聞いてどう思いましたか？ ・ 間違いを繰り返しながらゴールに向かって進んだような経験ってありますか？ 		
継続的な活用	<p>活動を思い出させながら次のようなことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の中でもエラーを恐れずに活動する。 ・ 互いの支え合いがあるからこそ、みんなで前に進むことができる。 など 		
子どもたちの感想や変容、等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の失敗がみんなの成功につながったことがうれしかった。 ・ 授業の中で間違えることも大切なんだと思った。 ・ みんなが正解したり間違えたりするから本当のゴールが見つかると思った。自分一人ではできないと思った。 		
実践者からのひとこと	<p>・ 「この一年、みんなのエラーがあったからこそ、ここまでたどり着けたんだよね。これからもエラーを恐れず、大切に、支え合いながら歩んでいこうね。」など学年末のメッセージを伝えることができます。卒業前の振り返りにも最適！</p>		



（萩市立育英小学校 山本豊三先生による実践）

